

平成29年度 学校経営方針

篠山市立篠山中学校

学校教育目標

自ら学ぶ力、温かい心、たくましさを持って生きる生徒の育成

めざす学校像

めざす学校「ささやま」

- さわやかに語り合う学校（明朗快活）
- ささえ合い、励まし合う学校（協働）
- やけどう感あふれる学校（活気・充実）
- まじめにやり抜く学校（努力・意志）

めざす教師像

生徒の風を感じながら
「語る希望、刻む誠実、続ける変革」

- 教えるとは「ともに希望を語ること」
- 学ぶとは「胸に誠実を刻むこと」
- 研究は「事実に即して 自己を変革すること」

めざす生徒像

自ら学び、考える生徒

（知口）

互いに認め合い、支え合い、
自らを律する生徒

（徳）

心身を鍛え、粘り強く実践
する生徒

（体）

生徒信条

明るく

- ・あいさつや言葉遣い（敬語）を大切にする生徒
- ・自分の考えや思っていることをみんなの前で言える生徒
- ・掃除を熱心にし、学校施設を大切にする生徒

楽しく

- ・わかる（できる）喜びを感じる楽しい授業をつくる生徒
- ・一人ひとりの良さが生かされる楽しい学級をつくる生徒
- ・互いを認め合い支え合う楽しい部活動をつくる生徒

厳しく

- ・ルールやマナーを守る生徒
- ・互いの人権を尊重する生徒
- ・正しいことを正しいと言える生徒

重点課題

基礎・基本の確実な定着を図り、個性や創造性を伸ばす教育を充実する

- ・少人数授業、繰り返し指導や学習内容の習熟度に応じた指導、補充的な学習など、きめ細かな指導を行う。
- ・家庭と連携して家庭での学習習慣が身につくように努める。
- ・生徒同士が語り合い、学び合い、深め合う授業を目指す。
- ・特別な支援を要する生徒一人ひとりの個性を尊重し、個々の発達課題を的確に把握して、保護者や関係機関と連携しながら適切な支援を行う。
- ・小中連携を充実し、連続性のある学習への取組を組織的・継続的に行う。

道徳教育・体験活動を充実し、豊かな人間性や社会性を育む

- ・基本的な心構えや行動の仕方について、学校行事、「トライやる・ウィーク」、「総合的な学習の時間」等の体験的・実践的な活動を通して学ばせる。
- ・「いじめ」はどこに学校にも、どこの学級にも、どの生徒にも起こるとの認識のもと、組織的に早期発見、早期対応、早期解決を図る。
- ・「命の大切さ」「自尊感情」「思いやりの心」「困難や逆境に負けない強い心」などの大切さに気付かせ、道徳実践力を育てていくとともに、全教職員の協働体制の中で多様な指導の工夫に努める。
- ・ふるさと「ささやま」の自然や伝統文化を学ばせ、保護者や地域の人々と連携して豊かな人間性や社会性を育む「ふるさと教育」を推進する。

「命」を大切にし、自他を尊重し合う心を育む教育の推進を図る

- ・生徒の内面にねざした 道徳性の育成に努め、未来に向けて人生や社会を切り拓く実践的な力を培う。
- ・全教育活動を通じ、命の大切さを教え、共に生きる心を育てるなど「心の教育」を一層推進する。
- ・『命の大切さ』を実感させる教育プログラム」や兵庫の防災教育を教育課程にとり入れ、『命』を大切にし、自他を尊重し合う心をはぐくむ教育」を推進する。

魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める

- ・生徒一人ひとりが自らの能力・適性、興味・関心、進路希望等に基づいて自己実現が図れるよう、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。
- ・地域運営協議会や学校評価等を通して、保護者や地域の意見を聞き、教育活動に活かす。
- ・教育内容や学校運営の状況などについて積極的に広報に努め、開かれた学校づくりを一層推進する。
- ・学校の環境整備、美化活動、花いっぱい活動を積極的に推進する。

危機管理意識を高め、生徒の安全を守る取り組みを徹底する

- ・教職員の危機意識を高め、より実効性の高い危機管理体制の整備を図る。
- ・安全教育、防犯教育を徹底する。また、生徒自らの危機回避能力の育成に努める。
- ・定期検査や日常点検を実施し、未然に事故を防止するなど生徒が安全な生活が送れるように取組を進める。

教育の専門家としての自覚を高め、資質能力の向上に努める

- ・豊かな人間性の涵養に努め、専門性と実践的指導力の向上をめざし、研究と修養に努める。
- ・情報化、国際化、価値観の多様化など、社会の変化に対応した教育観を培う。
- ・実践的指導力向上を図り、保護者や地域の人々の期待に応えられる教職員であるよう研究と修養に努める。
- ・保護者、地域、関係機関の連携のもと、「温かさ、厳しさ、そして納得」のある生徒指導をチームで行う。